

令和元年度実施
行政評価調書
(確定評価)



令和元年9月
三 田 市

■令和元年度行政評価調書の見方

■令和元年度行政評価調書

第4次三田市総合計画後期計画の体系				所管部署 (評価調書取りまとめ)	ページ
	将来のまちの イメージ	取組 番号	取組名(施策名)		
基本計画 総論	人と人がつながり、 支え合うまち	1-1	地域で支えるまちづくり	地域創生部市民協働室	2
		1-2	人権尊重のまちづくり	福祉共生部共生社会推進室	2
基本計画 各論	安全に、安心して 暮らせるまち	2-1	生活の安全・安心	危機管理課	2
		2-2	非常時への備え	危機管理課	2
		2-3	水道供給	上下水道部	3
	健やかでいきいき と暮らせるまち	2-4	健康づくり	福祉共生部健康推進室	3
		2-5	地域医療	福祉共生部健康推進室	3
		2-6	高齢者の生きがいづくり	福祉共生部健康推進室	3
		2-7	高齢者の安心	福祉共生部健康推進室	4
		2-8	障がいのある人の安心	福祉共生部共生社会推進室	4
		2-9	生活の支援	福祉共生部共生社会推進室	4
	安らぎと潤いのある まち	2-10	良好な住まい	まちの再生部都市政策室	4
		2-11	景観	まちの再生部都市政策室	5
		2-12	安らぎのある暮らし	まちの再生部環境共生室	5
	自然と共生するま ち	2-13	自然環境の保全	まちの再生部環境共生室	5
		2-14	循環型社会	まちの再生部環境共生室	5
		2-15	低炭素社会	まちの再生部環境共生室	6
	未来を担う人を育 むまち	2-16	乳幼児期の子育て	子ども・未来部子育て未来室	6
		2-17	学校教育の充実	学校教育部	6
		2-18	地域ぐるみの子育て	子ども・未来部子ども未来室	7
	三田らしさを守り育 てる文化のまち	2-19	生涯学習、歴史の継承と文化の創造	地域創生部市民協働室	7
		2-20	スポーツ・レクリエーション	地域創生部市民協働室	7
	活力とにぎわいの あるまち	2-21	土地利用	まちの再生部地域整備室	7
		2-22	多様な交流観光の創出	地域創生部産業戦略室	8
		2-23	地域経済の活性化	地域創生部産業戦略室	8
		2-24	交通ネットワーク	まちの再生部都市政策室	8
2-25		農業振興	地域創生部産業戦略室	8	
まちづくり の進め方	-	3-1	行政運営	経営管理部行政管理室	9
		3-2	協働	地域創生部市民協働室	9
総合戦略	チーム三田による 三田版総合戦略の推進	4-1	チーム三田	地域創生部産業戦略室	9

令和元年度行政評価調書の見方

1 全般的事項

この調書は、第4次三田市総合計画後期基本計画(以下「総合計画」といいます。)の30の施策(取り組み)ごとに、行政活動の成果や課題、今後の対応方向等をまとめたものです。

前年度(平成30年度)に市が実施した内容や結果をもとに、事後評価を行いました。

2 「取組番号」、「取組名」、「取組目標」

施策ごとの取り組みとその目標について、総合計画の記載に基づいて表示しています。

3 「対象経費(人件費除く:百万円)」

施策に属する予算小事業費の合計です。職員人件費そのものの事業は除いていません。

4 「施策関連部課等」

冒頭角かっこ内に施策の取りまとめをした所管部等を表示し、続いて施策に関連する部署を表示しています。

5 「予算の重点項目等に対する市の取り組み結果(平成30年度)」

施策のうち、重要とされた事項について、当該事項別の実施計画等に対する進捗状況を定量的に示し評価しています。

(1) 主な取り組み3項目(予算額:千円)

「重要とされた事項」を3つまで選び、各事項のために計上されていた該当予算の総額とともに表示しています。なお、表示している事項は、主に次の範囲から抽出しました。

- ・平成30年度「わかりやすい予算」に掲載された事業項目等
- ・平成30年度「行政評価調書」の『成果と課題』欄に記載した重点課題等

(2) 左記の計画数量、達成数量及び達成度評価

主な取り組みに対する実施概要とその達成度に対する評価を説明しています。

6 「成果指標等の推移」

本欄は、総合計画に掲げるすべての指標の推移を確認し、各施策の成果を測る一助とするものです。

(1) 指標名～各年度数値

指標名、基準及び目標は総合計画に掲げている指標です。年度欄には各指標の実績となる数値等を表示しています。

(2) 進捗

各指標の推移から推察する進捗状況区分を、次の凡例に従って表示しています。

- ◎ 達成 この指標が表す個別の取り組みは、目標を達成した。
- 順調に進捗 この指標が表す個別の取り組みは、順調に進捗している。
- △ 停滞傾向 取り組み及び指標が停滞傾向にあり、分析等が必要である。
- × 見直し必要 現状の取り組みでは改善が期待出来ず、見直しが必要である。

7 「成果を踏まえた重点課題等(令和元年度～)」

本欄は、これまでの市の取り組み結果と成果指標等の推移を踏まえた上で、施策推進上の課題のうち、もっとも重要と考えられる課題に焦点を当てて説明しています。

(1) 【重点課題】

施策の実施上、現時点においてももっとも重要と考えられる課題を表示しています。

(2) 【詳細説明】

課題を取り巻く状況、重点課題を解決するための取り組みについて説明しています。

(3) 【その他の課題】

重点課題に準じる「その他の課題」のうち、主なものを表示しています。

8 「R元予算対応済内容(千円)」

前項で選定した重点課題等のうち、令和元年度予算に計上し対応予定のものについて事業名称及び予算額(千円)等を参考表示しています。なお、「平成31年度わかりやすい予算」掲載事業のうち、新規、拡充事業に該当する事業についてはその旨の記載をしています。

【様式1】令和元年度行政評価(内部評価)調査

取組番号	基本情報			予算の重点項目等に対する市の取り組み結果(H30年度)		成果指標等の推移							成果を踏まえた重点課題等(R元年度～)	R元予算対応内容(千円)	
				主な取り組み3項目(予算額:千円)		⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価		(進捗区分: ◎達成、○順調に進捗、△停滞傾向、×見直し必要)							現在もっとも重要な1項目+その他の課題を記載
1-1	取組名	地域で支えるまちづくり		① 地域計画の策定支援(94) ② 地域担当制の充実 ③ 総合福祉保健センターの改修事業(380,800)	① 住民主体のまちづくりにおいて、地域の目標となる地域計画の策定にかかる支援策の検討を行った。 (達成度)地域計画の策定にかかる手引きを作成した。 ② 地域担当サポート職員を新たに配置し、地域主体のまちづくり支援体制の充実を図った。 (達成度)地域担当サポート職員(27名)を配置するとともに、職員の資質向上のため、ファシリテーション研修を2回実施した。 ③ 総合福祉保健センターの設備機器などを更新し、長期にわたり利用できるよう改修工事を実施した。 ・工事期間 H30.9～R2.3 (達成度)空調・換気設備、照明設備などの更新を計画どおりに実施した。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 地域計画の策定にかかる現状把握と支援 【詳細説明】 ・地域の目標となるまちの将来像を地域住民で共有し、地域課題の可視化や住民による解決に向けての取り組みなどを長期的視点でまとめた計画(地域計画)の策定に向けて、地域の現状や課題を把握するとともに、策定に取り組むまちづくり協議会等を支援することにより、住民主体のまちづくりの推進を図る。 【その他の課題】 ・市民センターの改修事業	
	取組目標	ともに考え、ともに支え合い活気のあるまちをつくりましょう				1	地域活動へ参加している人の割合	37.0%(H28)	37.0%	35.7%	37.1%	40.7%	△		
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	まちづくり協議会の設立数	10組織	13組織	17組織	18組織	20組織		○
	施策関連 部課等	[地域創生部市民協働室] 協働推進課 福祉共生部地域福祉課、健康増進課				3									
1-2	取組名	人権尊重のまちづくり		① 障害者差別の解消の推進(605) ② 性的マイノリティ相談の充実(390) ③ 部落差別の解消の推進(240)	① 条例施行の周知及び障害の理解啓発 ・周知方法2種類→4種類、理解啓発方法2種類→8種類 (達成度)リーフレット作成や市広報紙に加え、市政出前講座、コミュニティFM、市民講座、市職員研修などの機会を活用し、広く周知を図ることができた。 ② 「性的マイノリティ特設電話相談事業」を開始した。 ・相談件数 8件 (達成度)自身の「性」のあり方に生きづらさを抱えている人が、同じ立場の当事者に直接悩みを相談できる環境を整備することができた。 ③ 「インターネット差別書き込みモニタリング事業」を開始。 ・モニタリング実施回数 週2回、削除要請件数 5件 (達成度)悪質な書き込みに対し削除要請を行うなど、早期発見・拡散防止に取り組むことができた。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 障害者差別解消の推進 【詳細説明】 ・障害を理由とする差別に関する相談窓口の周知を行うとともに、相談事案に対応することで差別の解消を図る。 ・障害についての正しい知識の普及と合理的配慮の浸透を図るため、職員に対する研修や市民への啓発講座等を実施する。 【その他の課題】 ・市民人権意識の実態に基づく施策の展開	
	取組目標	お互いが人権を尊重しあうまちをつくりましょう				1	人権問題の解決に向けて「社会全体で取り組み、自分も努力するべきだ」と思う市民の割合	79.6%(H28)	79.6%	79.3%	85.1%	80.0%	◎		
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	市の管理職の女性比率(消防及び市民病院を除く。)	12.0%	13.1%	16.4%	14.5%	15.0%		△
	施策関連 部課等	[福祉共生部共生社会推進室] 人権推進課、いきいき高齢者支援課、障害福祉課 子ども・未来部子ども家庭課 地域創生部まちづくり協働センター、市民課 経営管理部人事課				3	市ホームページの外国語ページのアクセス数	945回	2,615回	1,375回	1,718回	1,000回	◎		
2-1	取組名	生活の安全・安心		① 防犯カメラの適正管理(12,381) ② 交通事故防止に向けた取り組み(8,152) ③ 高齢者等の消費者トラブルの啓発(545)	① 200台の防犯カメラの適正な維持管理が図れた。 今後の方向性検討の資料として、区・自治会に対し防犯カメラの効果に関するアンケートを実施した。 (達成度)適正管理や検討資料の収集が図れた。 ② 交通安全教室 104回、街頭啓発キャンペーン 8回、交通安全ポスターコンクールを実施した。 (達成度)交通事故総件数(2,889件、前年比+149件)、人身事故(418件、前年比+26件)、死傷者数(510人、前年比+32人)全てで増加、取組みの効果が表れていない。 ③ 市政出前講座を23回、消費生活出前講座を8回実施し、延べ598人に被害防止の啓発を行った。 (達成度)消費者トラブルとなった契約の総支払額に占める60歳以上の金額を前年度に比べ減らすことができた。(3,881万円、前年同期比△2,167万円)	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 交通事故による死傷者数の増加 【詳細説明】 ・H28末ではR3目標指標を達成していたが、H29以降増加に転じている。 ・高齢者の関係する事故が増加している。 ・人身事故件数の主な増加要因は、「優先通行妨害(前年度比+7)」「一時不停止(前年度比+9)」による事故であった。 【その他の課題】 ○交通安全思想の普及への取り組み	
	取組目標	誰もが安全で安心して暮らせるまちをつくりましょう				1	刑法犯罪発生件数(人口千人当たり)	7.2件	5.9件	5.0件	4.3件	6.2件	◎		
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	交通事故による死傷者数	484人	415人	478人	510人	420人		△
	施策関連 部課等	[危機管理課] 危機管理課 地域創生部まちづくり協働センター				3	消費生活に関するトラブル相談のうち、解決できた件数割合	89.8%	89.8%(H27)	88.6%(H28)	83.6%(H29)	92.0%	○		
2-2	取組名	非常時への備え		① 応急対応力の確保 はしご付消防自動車(はしご車)の更新(220,601) ② 資機材及び備蓄の確保(5,457) ③ 自助・共助の取り組みの推進(6,122)	① H8.12に導入されたはしご車1台が老朽化したため更新に取り組み、最新鋭の35m級先端屈折はしご車1台をH30.12に更新し運用開始した。 (達成度)消防力を増強し、対応力を確保した。 ② 食糧・飲料・簡易トイレ等災害時に必要な物資について地域防災計画に定めた備蓄数の確保を計画的に進めた。 ・H29、H30の2ヶ年で完了した。 (達成度)地域防災計画に定めた備蓄数を確保できた。 ③ 地域版防災マップは市内3地域で作成支援し、自主防災組織の新規結成1組織(計72組織)、避難行動要支援者名簿の共有は新規3地域と協定締結した(計172地域)。 ・総世帯数に対する自主防災組織率は、78.3%に向上した。 (達成度)順調に推移している。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 地域防災力の向上 【詳細説明】 ・大規模災害において、命を救う初期行動には地域住民による共助が不可欠である。 ・共助を促進するため、自主防災組織の結成促進や組織強化を促すために、さらなる啓発活動に取り組む必要がある。 ・地域での担い手やリーダーの確保が課題である。 【その他の課題】 各地域での避難行動要支援者への支援体制の構築	
	取組目標	災害に強いまちをつくりましょう				1	住宅用火災警報器の設置率	82.0%	82.0%	77.0%	82.0%	90.0%	△		
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	自主防災組織の結成率(累計)	73.4%	75.0%	78.2%	78.3%	80.0%		○
	施策関連 部課等	[危機管理課] 危機管理課 消防本部				3	地域防災訓練の実施率	70.3%	76.4%	68.1%	68.3%	88.0%	△		
				4	防災防犯メールへの加入件数(毎年4月)	14,639件	14,765件	15,351件	16,479件	18,000件	○				
				5											
				6											

【様式1】令和元年度行政評価(内部評価)調査

取組番号	基本情報			予算の重点項目等に対する市の取り組み結果(H30年度)		成果指標等の推移							成果を踏まえた重点課題等(R元年度～)	R元予算対応内容(千円)																																																	
				主な取り組み3項目(予算額:千円)		⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価		(進捗区分: ◎達成、○順調に進捗、△停滞傾向、×見直し必要)							現在もっとも重要な1項目+その他の課題を記載																																																
2-3	取組名	水道供給		① 安心、安全な水道水の供給(25,233) ② 経営基盤の強化(5,000) ③ 老朽施設等の計画的な更新(387,431)	① 水安全計画の履行や推進検討会の実施、また、計画的な計装機器等の保守点検により、安全、安心な水道水を供給した。 ・目標 水質事故0件→実績0件(達成度)継続して無事故を続ける。 ② 三田市水道ビジョン、中長期財政計画に基づき、水道事業経営戦略(R元～R30年度)を策定した。 (達成度)R元からの経営基本方針の策定と、更なる経営健全化に向けた課題抽出をすることができた。 ③ 計画的な水道施設の更新を実施し、水道事故を未然に防いだ。 ・老朽管更新計画(H25～R4) 進捗率68% ・フランジ継手部強靱化計画(H29～R8) 進捗率26% ・施設耐震化工事(H29～R元) 施設数進捗率50%(達成度)計画どおり順調に実施することができた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>目標R3</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 水質基準不適合率</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2 水道料金の回収率</td> <td>95.8%</td> <td>95.8%(H27)</td> <td>99.0%(H28)</td> <td>100.6%(H29)</td> <td>100%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3 上水道の有収率</td> <td>95.8%</td> <td>96.3%</td> <td>94.3%</td> <td>93.5%</td> <td>97.0%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	1 水質基準不適合率	0%	0%	0%	0%	0%	○	2 水道料金の回収率	95.8%	95.8%(H27)	99.0%(H28)	100.6%(H29)	100%	○	3 上水道の有収率	95.8%	96.3%	94.3%	93.5%	97.0%	△	4							5							6							【重点課題】 料金体系の見直し 【詳細説明】 ・将来にわたり持続可能な水道事業を維持していくために、10年間の在り方を示した経営戦略(H29～30)を策定し、課題となった少水量使用者を考慮した基本水量等の見直しのため、審議会で検討を行う。 【その他の課題】 ・災害への備え(水道施設の耐震化率の向上)	審議会業務委託費(5,000)
	指標名	基準H27	H28			H29	H30	目標R3	進捗																																																						
	1 水質基準不適合率	0%	0%			0%	0%	0%	○																																																						
	2 水道料金の回収率	95.8%	95.8%(H27)			99.0%(H28)	100.6%(H29)	100%	○																																																						
3 上水道の有収率	95.8%	96.3%	94.3%	93.5%	97.0%	△																																																									
4																																																															
5																																																															
6																																																															
取組目標	安全・安心な水道供給ができるまちをつくりましょう																																																														
対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算																																																												
施策関連部課等	[上下水道部] 上水道課、浄水施設課																																																														
2-4	取組名	健康づくり		① 各種健康診査と事後指導の充実(特定健診)(68,383) ② 各種健康診査と事後指導の充実(女性がん検診)(55,477) ③ 各種健康診査と事後指導の充実(歯科口腔健診)(5,721)	① 健康管理を実践するため特定健診の啓発と特定保健指導を実施した。 ・特定健診の受診率 目標60.0%→実績見込34.4%(達成度)さまざまな受診勧奨を行ったが、前年度より下回る見込み。 ② がん検診の受診機会拡大と啓発を実施した。 ・子宮頸がん検診の受診者数 実績4,457人(達成度)H30より集団健診を実施したことにより、前年度(3,789人)を上回る受診者数になる見込み。 ③ 歯科口腔健診の受診勧奨を実施した。 ・歯科口腔健診の受診者数 ・目標(H29実績)1,244人→実績1,140人(達成度)ハガキによる受診勧奨等を実施したが目標を下回る見込み。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>目標R3</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 特定健診の受診率</td> <td>35.5%</td> <td>35.5%(H27)</td> <td>34.6%(H28)</td> <td>36.3%(H29)</td> <td>60.0%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>2 睡眠による休養がとれていない人の割合</td> <td>38.6%(H24)</td> <td>—</td> <td>39.6%</td> <td>—</td> <td>30.9%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>3 健康づくりに取り組んでいる人の割合</td> <td>60.8%(H24)</td> <td>—</td> <td>68.6%</td> <td>—</td> <td>78.1%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>4 栄養バランスに配慮した食事をとっている人の割合</td> <td>70.0%(H24)</td> <td>—</td> <td>56.7%</td> <td>—</td> <td>83.5%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>5 歯科口腔健診を受診する人の割合</td> <td>7.4%(H24)</td> <td>6.0%</td> <td>6.4%</td> <td>5.9%</td> <td>9.7%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	1 特定健診の受診率	35.5%	35.5%(H27)	34.6%(H28)	36.3%(H29)	60.0%	△	2 睡眠による休養がとれていない人の割合	38.6%(H24)	—	39.6%	—	30.9%	△	3 健康づくりに取り組んでいる人の割合	60.8%(H24)	—	68.6%	—	78.1%	○	4 栄養バランスに配慮した食事をとっている人の割合	70.0%(H24)	—	56.7%	—	83.5%	△	5 歯科口腔健診を受診する人の割合	7.4%(H24)	6.0%	6.4%	5.9%	9.7%	△	6							【重点課題】 生活習慣病の予防と重症化防止 【詳細説明】 ・生活習慣病予防のため、市民の健康意識の向上、食育や自主的な健康づくり活動の推進、特定健診受診者、特定保健指導実施者を増やすことが必要。 ・重症化防止のため、重症化リスクの高い未治療者を治療につなげることが必要。 【その他の課題】 ・各種がん検診受診者や歯科口腔健診受診者を増やすことが必要。	特定健康診査事業費(60,458) 特定保健指導事業費(5,291)
	指標名	基準H27	H28			H29	H30	目標R3	進捗																																																						
	1 特定健診の受診率	35.5%	35.5%(H27)			34.6%(H28)	36.3%(H29)	60.0%	△																																																						
	2 睡眠による休養がとれていない人の割合	38.6%(H24)	—			39.6%	—	30.9%	△																																																						
3 健康づくりに取り組んでいる人の割合	60.8%(H24)	—	68.6%	—	78.1%	○																																																									
4 栄養バランスに配慮した食事をとっている人の割合	70.0%(H24)	—	56.7%	—	83.5%	△																																																									
5 歯科口腔健診を受診する人の割合	7.4%(H24)	6.0%	6.4%	5.9%	9.7%	△																																																									
6																																																															
取組目標	こころも身体も健康に暮らしていけるまちをつくりましょう																																																														
対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算																																																												
施策関連部課等	[福祉共生部健康推進室] 健康増進課、国保医療課																																																														
2-5	取組名	地域医療		① 小児救急医療の安定化(60,325) ② 市民病院の充実 ③ 救命・応急手当技術向上等(277)	① 三田市休日応急診療センターの安定的な運営を図った。 ・開設計画日数73日→実績73日 ・小児科医の配置計画日数69日→実績69日(達成度)計画どおり実施できた。 ② 「断らない救急」と「稼働率の向上」を重点に取り組んだ。 ・救急車搬送数 計画2,846件→実績3,533件 ・病床稼働率 計画81.4%→実績81.7%(達成度)計画を上回り実施できた。 ③ 従来の救命講習に加え、小学生にも救命講習を開催し、幅広い年齢層に救急車到着までの応急手当の重要性を啓発した。 ・小学5年生を対象に2校で開催。(達成度)救急現場での心肺蘇生の実施率は前年より8.2%減少した。講習の啓発に加え、通報時の口頭による応急手当の指導を充実させる必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>目標R3</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 かかりつけ医を持つ人の割合</td> <td>65.2%(H28)</td> <td>65.2%</td> <td>60.0%</td> <td>58.3%</td> <td>67.0%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>2 市民病院の地域連携度(紹介率)</td> <td>57.6%</td> <td>63.9%</td> <td>68.4%</td> <td>71.6%</td> <td>60.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3 市民病院の地域連携度(逆紹介率)</td> <td>92.4%</td> <td>101.1%</td> <td>103.3%</td> <td>105.0%</td> <td>95.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>4 市民病院の病床稼働率</td> <td>74.2%</td> <td>80.5%</td> <td>83.8%</td> <td>81.7%</td> <td>84.5%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>5 救急隊到着前の心肺蘇生法実施率(実施数/心肺停止傷病者)</td> <td>45.4%</td> <td>54.4%</td> <td>53.5%</td> <td>45.3%</td> <td>55.0%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	1 かかりつけ医を持つ人の割合	65.2%(H28)	65.2%	60.0%	58.3%	67.0%	△	2 市民病院の地域連携度(紹介率)	57.6%	63.9%	68.4%	71.6%	60.0%	○	3 市民病院の地域連携度(逆紹介率)	92.4%	101.1%	103.3%	105.0%	95.0%	○	4 市民病院の病床稼働率	74.2%	80.5%	83.8%	81.7%	84.5%	△	5 救急隊到着前の心肺蘇生法実施率(実施数/心肺停止傷病者)	45.4%	54.4%	53.5%	45.3%	55.0%	△	6							【重点課題】 市民病院の経営の安定化及び急性期医療の確保 【詳細説明】 ・市民病院が保有する地域の基幹的急性期機能を将来に亘って安定的、永続的に維持する取組みとして、広域的な視野に立った再編・ネットワーク化を推進し、その仕組みづくりを進める。 【その他の課題】 ・生命を守るために行動できる救命意識の啓発	
	指標名	基準H27	H28			H29	H30	目標R3	進捗																																																						
	1 かかりつけ医を持つ人の割合	65.2%(H28)	65.2%			60.0%	58.3%	67.0%	△																																																						
	2 市民病院の地域連携度(紹介率)	57.6%	63.9%			68.4%	71.6%	60.0%	○																																																						
3 市民病院の地域連携度(逆紹介率)	92.4%	101.1%	103.3%	105.0%	95.0%	○																																																									
4 市民病院の病床稼働率	74.2%	80.5%	83.8%	81.7%	84.5%	△																																																									
5 救急隊到着前の心肺蘇生法実施率(実施数/心肺停止傷病者)	45.4%	54.4%	53.5%	45.3%	55.0%	△																																																									
6																																																															
取組目標	救急体制の整った、安心して医療の受けられるまちにしましょう																																																														
対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算																																																												
施策関連部課等	[福祉共生部健康推進室] 健康増進課 市長公室市民病院改革プラン推進課、消防本部、市民病院																																																														
2-6	取組名	高齢者の生きがいづくり		① 高齢者の活躍のきっかけづくり(1,211) ② 就労・ボランティア活動への支援(【再掲】1,211) ③ 高齢者の社会参加の場づくり(【再掲】1,211)	① いきがい応援プラザを運営し、シニアの活躍に役立つ情報を提供した。 ・情報紙の発行(H30から新規・年6回発行)(達成度)プラザの認知度向上につながった。 ② いきがい応援プラザでシニア向けの就職相談を行った。 ・就職相談件数 H29実績196件→実績316件 ・高齢者就労相談窓口の開設(達成度)ハローワーク三田や三田市シルバー人材センターとの連携により、シニアの円滑な就職が支援できた。 ③ 生涯現役ネットワーク連絡会を開催し、関係機関の連携強化を進めた。 ・連絡会参加機関数5機関→6機関(達成度)生活支援コーディネーターが加わり、連携の幅が広がった。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>目標R3</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 いきがい応援プラザ年間利用者数</td> <td>—</td> <td>392人</td> <td>1,460人</td> <td>1,432人</td> <td>3,600人</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2 シルバー人材センター会員登録者数</td> <td>1,052人(H28)</td> <td>1,052人</td> <td>1,048人</td> <td>1,153人</td> <td>1,150人</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3 生きがいがある高齢者の割合</td> <td>81.3%(H26)</td> <td>—</td> <td>61.9%</td> <td>—</td> <td>83.0%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	1 いきがい応援プラザ年間利用者数	—	392人	1,460人	1,432人	3,600人	○	2 シルバー人材センター会員登録者数	1,052人(H28)	1,052人	1,048人	1,153人	1,150人	○	3 生きがいがある高齢者の割合	81.3%(H26)	—	61.9%	—	83.0%	△	4							5							6							【重点課題】 関係機関の連携による高齢者の活躍支援 【詳細説明】 ・関係機関による生涯現役ネットワーク連絡会によりシニアの活躍に関する情報を共有し、ニーズに応じた様々な活躍の場の情報提供を充実する。 ・就職相談は、引き続きハローワーク三田等と連携して、円滑な就職支援を行う。 【その他の課題】 ・高齢者の身近な社会参加の場の維持・拡大	いきがい応援プラザ運営事業費(1,211)
	指標名	基準H27	H28			H29	H30	目標R3	進捗																																																						
	1 いきがい応援プラザ年間利用者数	—	392人			1,460人	1,432人	3,600人	○																																																						
	2 シルバー人材センター会員登録者数	1,052人(H28)	1,052人			1,048人	1,153人	1,150人	○																																																						
3 生きがいがある高齢者の割合	81.3%(H26)	—	61.9%	—	83.0%	△																																																									
4																																																															
5																																																															
6																																																															
取組目標	高齢者が生きがいを持ち、はつらつと活躍できるまちをつくりましょう																																																														
対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算																																																												
施策関連部課等	[福祉共生部健康推進室] いきいき高齢者支援課																																																														

【様式1】令和元年度行政評価(内部評価)調書

取組番号	基本情報			予算の重点項目等に対する市の取り組み結果(H30年度)		成果指標等の推移							成果を踏まえた重点課題等(R元年度～)	R元予算対応内容(千円)		
				主な取り組み3項目(予算額:千円)		⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価		(進捗区分: ◎達成、○順調に進捗、△停滞傾向、×見直し必要)							現在もっとも重要な1項目+その他の課題を記載	
2-7	取組名	高齢者の安心		① 三田安心ケアシステムの推進(地域包括ケア体制の構築) ② 介護予防事業の推進(4,721) ③ 認知症施策の推進(7,728)	① 高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センター、高齢者支援センター(各3か所)の運営を行った。 ・総合相談件数 H29実績3,567件 →実績3,736件(達成度)高齢者の総合相談窓口として地域に認識され、多様な内容で活用されている。 ② 介護予防事業の充実を図るため、住民主体による「いきいき百歳体操」を推進した。 ・計画32団体 →実績35団体 ・実施団体へのリハビリ専門職の派遣指導21団体(達成度)目標は達成した。今後新規立上げとともに継続性が課題である。 ③ 認知症になっても安心して暮らせるまちにするため、認知症サポーター養成講座を実施した。 ・計画40回1,000人 →実績40回1,093人(達成度)計画どおりサポーターを養成するとともに、当事者の講話等を含めたステップアップ講座を開催し、質の向上にも努めた。	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 三田安心ケアシステムの推進 【詳細説明】 ・高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センター等を中核とし、相談支援の充実や地域や関係機関等とのネットワーク構築を推進する。 ・相談支援体制の充実を図り、高齢者の介護予防や必要なサービス利用につながる支援を行い、住まい・医療・介護・予防・福祉・生活が一体的に提供されるシステムを構築する必要がある。 【その他の課題】 ・認知症施策の推進	・地域包括支援センター運営事業費(110,755のうち100,195) ・高齢者支援センター運営事業費(35,346)		
	取組目標	高齢者が安心して、いきいきと暮らせるまちをつくりましょう				1	65歳以上人口に占める要介護・要支援認定者の割合	17.2%	17.1%	17.2%	17.4%	16.6%			△	
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	地域包括支援センター・高齢者支援センターを知っている人又は利用したことがある人の割合	48.9%(H26)	-	62.4%	-			70.7%	○
	施策関連部課等	[福祉共生部健康推進室] 介護保険課、いきいき高齢者支援課				3	認知症サポーター数(累計)	6,604人	7,879人	8,897人	9,990人	11,400人				○
2-8	取組名	障がいのある人の安心		① 障害者虐待事案に係る検証委員会の設置(112) ② 虐待防止に関する普及啓発、早期発見、自立支援及び養護者への支援等の推進(1,664) ③ 日常生活用具給付等事業(1,643)	① 事案への市の対応について検証を行い、今後取り組むべき課題等を明らかにすることを目的として三田市障害者虐待に係る対応検証委員会を設置した。(達成度)6回(予定回数4～5回)開催し、検証報告書が市長に提出された。 ② 検証委員会が作成した検証報告書の内容を踏まえ、今後の取組み内容を検討、整理するため障害者共生協議会を設置した。(達成度)共生協議会を開催(5回)、福祉共生部等職員及び障害福祉課職員への研修を実施した(計5回)。 ③ 「テレビが聞けるラジオ」を日常生活用具の対象に加え、視覚障害者の日常生活における情報や緊急災害情報の取得を支援した。(達成度)交付件数3件(予定件数10件)	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 地域生活支援拠点等の整備 【詳細説明】 ・R2末までに、障害児者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障害児者が地域で自分らしく生きるため、相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制等の機能を整備し、障害児者の生活を地域で支えるサービス提供体制を構築する。 【その他の課題】 ・地域生活への円滑な移行のための生活の場(グループホーム等)の確保	相談支援事業費(39,431のうち113)		
	取組目標	障がいのある人の権利が保障され、安心して暮らせる共生社会の構築をめざしましょう				1	相談支援事業所の数	7箇所	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所			◎	
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	日中活動系サービス提供数	40事業	40事業	40事業	43事業			41事業	◎
	施策関連部課等	[福祉共生部共生社会推進室] 障害福祉課				3	グループホームの箇所数	15箇所	15箇所	15箇所	16箇所	18箇所				○
2-9	取組名	生活の支援		① 生活保護受給者等就労自立促進事業の実施(2,896) ② 国民健康保険税の収納率向上(2,026,039)※歳入予算 ③ 福祉医療費助成の適正実施(751,429)	① 就労支援プログラムによる就労支援を行った。(達成度)就労支援プログラムの活用を促すうえで、就労支援対象者への働きかけ、職業訓練等を活用したが、時間を要した。計画4人 →実績3人 ② 納税推進センター等を活用し、収納率の向上を図った。 ・計画96.0% →見込95.95%(達成度)概ね計画どおりの収納率を確保できる見込みである。 ③ 福祉医療費助成の実施により、適正に経済的支援を行った。 ・福祉医療助成件数 計画300,779件 →見込287,002件(達成度)低所得者また低年齢層へ配慮を行う中で、一部自己負担(上限額設定)を求めるよう適正な給付を行った。なお、持続可能な社会保障制度を目指し、こども医療費助成制度の改正を行った。	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業の推進 【詳細説明】 ・自立相談支援事業における新規相談案件数及び支援プラン作成件数の向上を図る。 ・三田市権利擁護・成年後見支援センターと庁内関係機関が連携し、生活困窮者に対する多面的な視点で包括的支援に取り組む。 【その他の課題】 ・専門機関等のネットワークづくり ・各種制度や相談窓口に関する情報提供	生活困窮者自立支援事業費(16,044)		
	取組目標	誰もが経済的に自立した生活が出来るまちを目指しましょう				1	生活保護受給者のうち、就労支援プログラムにより就労に結びついた人数	3人	3人	2人	3人	4人			△	
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	国民健康保険税現年分収納率	95.61%	95.61%(H27)	95.74%(H28)	95.66%(H29)			96.0%	○
	施策関連部課等	[福祉共生部共生社会推進室] 生活支援課、国保医療課 経営管理部収納対策課				3										
2-10	取組名	良好な住まい		① 市営住宅の適切な管理、計画修繕の実施(82,045) ② 耐震診断、改修の推進(10,727) ③ 住替え支援等による住宅ストックの利活用の推進(3,567)	① 長寿命化計画に基づく外壁改修を実施した。 ・改修の棟数 計画4棟 →実績4棟(達成度)計画どおり改修が進んでいる。 ② 耐震化に向けた啓発や支援体制の強化を図った。 ・簡易耐震診断件数 H29実績33件 →実績52件(達成度)庁舎ロビーでの無料相談会や戸建住宅へのポスティングの実施により診断件数も増加している。 ③ 住まいに関する情報提供や空き家バンク等による住宅ストックの利活用の推進を図った。 ・利用者登録数 83件、物件登録数 10件(達成度)空き家バンクの利用者登録数に比べ、物件登録数及び成約件数の伸びがやや鈍い。	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 住宅ストックの利活用(空き家バンク制度等)の推進 【詳細説明】 ・バンク利用登録者は、増加しているが、バンクの利用者ニーズに合った物件の登録が少ないことから、物件の掘り起しと制度の周知、また、既存ストックの利活用の啓発を強化する必要がある。 【その他の課題】 ・旧耐震住宅所有者に対する啓発	・マイホーム借上げ制度推進事業費(2,465) ・住宅ストック利活用推進事業費(790)		
	取組目標	安心して健やかに生活できる居住環境を目指しましょう				1	三田市公営住宅等長寿命化計画に基づく改修棟数	1棟	2棟	3棟	4棟	7棟			○	
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	住宅の耐震化率	92.5%(H25)	93.0%	93.1%	93.3%			95.0%	○
	施策関連部課等	[まちの再生部都市政策室] 都市計画課、都市再生課、審査指導課				3	住まいの相談窓口の相談件数	42件(H26)	85件	195件	178件	55件				◎
				4	空き家バンクを利用し居住した世帯数	-	0世帯	5世帯	8世帯	25世帯	△					
				5												
				6												

【様式1】令和元年度行政評価(内部評価)調査

取組番号	基本情報			予算の重点項目等に対する市の取り組み結果(H30年度)		成果指標等の推移							成果を踏まえた重点課題等(R元年度～)	R元予算対応内容(千円)		
				主な取り組み3項目(予算額:千円)		⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価		(進捗区分: ◎達成、○順調に進捗、△停滞傾向、×見直し必要)							現在もっとも重要な1項目+その他の課題を記載	
2-11	取組名	景観		① 良好な景観形成の推進・支援(798) ② 古民家等歴史的建築物の保存活用の推進(31,670) ③ 屋外広告物の適正化(377)	① 景観計画に基づく新築等の届出を市全域に拡大した。 ・景観計画策定区域面積 21,032ha (達成度)目標どおり計画の運用を開始(H30.7) ② 過去調査で抽出した再生候補物件について、再生提案、事業化支援、改修費助成等の支援に取り組んだ。 ・再生提案件数 計画2件 →実績2件 (達成度)改修費補助は、相続の遅延、活用者の確保困難等により事業化に至らず、継続して支援する。 ③ 景観パトロールの強化に取り組んだ。 ・パトロール実施数 H29実績37回 →実績48回 (達成度)違反物件の早期除却と指導の徹底が図れた。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 歴史的建築物を保存活用しやすい環境整備 【詳細説明】 ・町家や古民家等歴史的建築物は、保存活用により地域の価値や魅力を高めることができる貴重な景観資源であるが、除却が進んでいる。 ・改修費補助制度の充実、土地利用規制の緩和等により、保存活用しやすい環境整備を進める。 【その他の課題】 ・屋外広告物の規制対策	・景観形成推進事業費(22,972)	
	取組目標	良好な景観を形成し、次世代へ継承しましょう				1	景観計画策定区域面積	1,780ha	1,780ha	21,032ha	21,032ha	21,032ha	◎			
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	町家等修景助成件数	-	-	1件	0件	5件			△
	施策関連部課等	[まちの再生部都市政策室] 都市計画課、都市再生課、里山のまちづくり課				3										
2-12	取組名	安らぎのある暮らし		① ポイ捨てや不法投棄防止に向けた美化意識やマナーの向上(1,183) ② 合葬墓整備事業(1,400) ③ まちなか花ざかり事業(2,275)	① ポイ捨てゴミなどの不法投棄物の回収 ・回収量実績1,870kg(H29回収量実績2,140kg) (達成度)前年度よりごみの回収量が少ない。 ② 合葬墓整備に係る設計委託を実施した。(達成度)設計委託の契約を行った。 ③ 今年度、試行的にボランティアの有志により種から育てた花苗を配布することで地域活動の活性化とまちなかの緑化を推進した。 ・10,000株を育苗、48団体に配布。(達成度)事業継続には継続的な支援が必要である。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 今後の合葬墓の整備計画 【詳細説明】 ・社会情勢の変化等により、市民アンケートで、約6割の人が合葬墓に前向きである。よって、H30～R元に設計委託を行い、その後の工事着工を目指す。併せて第2・3工区の整備の可否を検討する。 【その他の課題】 ・道路・公園の植栽管理 ・公害等苦情への対応について、R元年度より環境サポートセンターを設置し対応にあたる。	公営墓地整備事業費(7,901)	
	取組目標	花や緑に包まれ、潤い、安らぎを感じる美しいまちにしましょう				1	地域の緑化団体による緑化箇所数	167箇所	167箇所	167箇所	151箇所	170箇所	△			
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	さんだクリーンサポーターの登録者数	1,514人	1,657人	1,636人	1,630人	1,700人			△
	施策関連部課等	[まちの再生部環境共生室] 環境創造課、公園みどり課				3	年間の公害等に関する苦情件数	43件	49件	69件	101件※(405件)	31件以下	×			
2-13	取組名	自然環境の保全		① (仮称)里山の保全・活用に関する条例の制定(328) ② (仮称)生物多様性さんだ戦略の策定(1,000) ③ 環境学習・教育の充実(19,775)	① 三田市里山と共生するまちづくり条例を制定した。 ・意見交換会 3回 ・パブリックコメント 5名12件 (達成度)計画どおり条例を制定した。 ② 戦略策定に向けて、市内の重要度が高い生態系・自然環境の調査を実施した。 ・調査箇所 市レッドデータブック「Aランク」指定 17箇所 (達成度)計画どおり調査を実施し、調査箇所の自然環境を把握する資料を作成した。 ③ 有馬富士自然学習センターで県立人と自然の博物館の専門性を活かした学習プログラムを実施した。 ・計画3,300人 →実績6,329人 (達成度)兵庫県立人と自然の博物館への委託プログラムにおいて学校教育支援事業の広報等に注力し、目標を大幅に上回った。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 里山と共生するまちづくりの推進 【詳細説明】 ・H30に制定した「里山と共生するまちづくり条例」に基づき里山の保全・活用を推進するための戦略を策定する。また、「神戸市と三田市の里山等自然環境の保全及び活用に係る連携・協力に係る協定」に基づき市域を超えた取り組みを進める。 【その他の課題】 ・(仮称)生物多様性さんだ戦略の策定(R3年度目標)	・【新】里山と共生するまちづくり推進事業(1,100)	
	取組目標	豊かな自然環境を守り、人と自然が共生したまちをつくりましょう				1	有馬富士自然学習センターが実施する学習プログラムの参加者数	3,000人	3,657人	3,405人	6,329人	3,300人	◎			
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	里山ボランティア延べ活動日数	200日	236日	266日	267日	240日			◎
	施策関連部課等	[まちの再生部環境共生室] 環境創造課、里山のまちづくり課 地域創生部文化スポーツ課、農村整備課 上下水道部下水道課				3	水洗化率	97.1%	97.1%(H27)	97.2%(H28)	97.3%(H29)	98.0%	△			
2-14	取組名	循環型社会		① 新ごみ処理施設整備基本構想の策定(2,989) ② 一般廃棄物の3Rの推進(16,502) ③ 家庭系一般廃棄物の減量化・資源化の推進(590)	① 基本構想検討委員会を開催し、施設整備の方向性について検討した。 ・検討委員会開催回数 計画3回 →実績3回 (達成度)計画どおり検討課題が整理できている。 ② 再生資源集団回収運動への支援を行った。 ・再生資源集団回収団体数 計画90団体 →実績82団体 (達成度)目標値達成には継続した啓発活動が必要である。 ③ 施設見学により環境学習やごみの適正処理の知識を深めた。 ・出前講座によるクリーンセンターの施設見学会の開催 計画5回 →実績2回 ・こどもごみ減らし隊の大阪湾フェニックス見学参加人数 計画80人 →実績68人 (達成度)目標値達成には継続した啓発活動が必要である。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 新ごみ処理施設の整備 【詳細説明】 ・新ごみ処理施設について、環境に配慮した施設になるよう課題を整理するとともに、循環型社会の形成に向けて市民の理解が進むよう環境学習機能を備えた施設整備を進める。 【その他の課題】 ・食品ロス削減に向けた取り組みの推進 ・分別収集の拡充の検討	新ごみ処理施設整備基本構想策定業務(1,977)	
	取組目標	限られた資源を未来に引き継ぐ循環型社会を実現しましょう				1	ごみの再資源化率	31.1%	31.1%(H27)	31.2%(H28)	32.9%(H29)	36.0%	×			
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	再生資源集団回収団体数	80団体	81団体	83団体	82団体	90団体			△
	施策関連部課等	[まちの再生部環境共生室] 環境創造課、クリーンセンター				3	1人1日当たり家庭系燃やすごみ量		482g	488g	478g	453g	○			

【様式1】令和元年度行政評価(内部評価)調査

取組番号	基本情報			予算の重点項目等に対する市の取り組み結果(H30年度)		成果指標等の推移							成果を踏まえた重点課題等(R元年度～)	R元予算対応内容(千円)							
				主な取り組み3項目(予算額:千円)		⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価		(進捗区分: ◎達成、○順調に進捗、△停滞傾向、×見直し必要)							現在もっとも重要な1項目+その他の課題を記載						
2-15	取組名	低炭素社会			①次世代自動車の普及促進(549) ②公用車の燃費向上に向けた取り組み ③地球温暖化防止に向けた啓発の強化	①EV・PHVの利用しやすい環境整備を進めるため、民間事業者と協定し公共駐車場3カ所ですぐ充電設備の設置した。(達成度)予定通り設置完了し、H30.10から稼働を開始した。 ②第3次三田市環境基本計画で、市域の温室効果ガス排出量の削減に向けた率先目標(R4目標)として公用車の燃費10%向上を設定した。(達成度)初年となるH30は、職員向け交通安全講習会(H30.10)にあわせてエコドライブの講習会を実施した。 ③兵庫県地球温暖化防止活動推進員との協力により啓発イベントを実施した。(達成度)三田松聖高校で公開講座「触れる地球」(H30.8)、まちづくり協働センターで講演「地球温暖化と異常気象」(H31.1)を開催した。							指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 COOL CHOICE運動の普及啓発 【詳細説明】 ・国が進める国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」の普及を図り、行政・市民・事業者がそれぞれの立場で、エネルギーの使用やごみの排出等を伴う日常の行動において「ライフスタイル」、「サービス」、「製品選び」等の見直しを呼びかける。 【その他の課題】 ・新たな再生可能エネルギーの調査・研究	・クールアース・デー実施事業費(77) ・次世代自動車インフラ整備事業費(805)
	取組目標	低炭素社会の実現を目指し、エネルギーの有効利用に取り組みましょう				1	太陽光発電普及率	7.6%	7.6%(H27)	8.2%(H28)	8.5%(H29)	8.5%(H29)	12.0%	○							
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算	R元予算		2	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の保有台数	170台	170台(H27)	214台(H28)	265台(H29)	470台	○								
	施策関連 部課等	[まちの再生部環境共生室] 環境創造課				3															
2-16	取組名	乳幼児期の子育て			①三田版ネウボラの推進(妊娠・出産から就学前までの切れ目ない支援)(622) ②保育所等待機児童の解消(25,539) ③地域子育て支援拠点の展開(39,875)	①妊婦面談のほか、新生児・乳児訪問を実施した。・妊娠届け出時の妊婦面談 目標100%→実績94.6%・新生児・乳児訪問目標率99.5%→実績87.3%(達成度)新生児・乳児訪問は未訪問者への勧奨などを行ったが達成できなかった。 ②既存園の定員拡大、送迎保育支援事業を実施するとともにH31.4開園をめざし小規模保育施設1施設の事業者選定、改修費補助を行った。送迎保育支援事業利用者13人(H31.3)(達成度)待機児童解消に向け取り組みを進めたが28人の待機児童が生じた。 ③市内4カ所の子育て交流ひろばで、親子のふれあいや相談の場を提供した。・計画122,700人→実績108,835人(達成度)H29以降、減少傾向であることに加え気候変動(警報発表)による閉所もあり、目標に届かなかった。							指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 保育所等待機児童の解消 【詳細説明】 ・中間見直し後の子ども・子育て支援事業計画に基づき、小規模保育事業所を1施設の開設を進めた(R元.4.1開所)。 ・待機児童解消に向け、R2から始まる第2期子ども・子育て支援事業計画を策定に着手する。 【その他の課題】 ・三田版ネウボラの充実	
	取組目標	未来ある子どもが健やかに育ち安心して子育てができるまちをつくりましょう				1	乳児全戸訪問率	86.3%	92.6%	92.6%	87.30%	99.5%	△								
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算	R元予算		2	3歳児健康診査受診率	96.6%	97.6%	98.0%	99.70%	98.0%	◎								
	施策関連 部課等	[子ども・未来部子ども未来室] 子ども政策課 保育振興課、幼児教育振興課 福祉共生部健康増進課				3	保育所等待機児童数	47人(H28)	47人	25人	28人	0人	△								
2-17	取組名	学校教育の充実			①変化の激しい時代を生き抜く力を育む教育の推進(77,194) ②児童生徒理解に基づく生徒指導の推進と相談・支援体制の充実(23,666) ③「確かな学力」の育成(6,226)	①グローバル化に対応した「三田の英語教育」を推進するため、英語教育推進委員会を開催した。・推進委員会開催数 計画3回→実施3回(達成度)H29に策定した「三田市英語教育推進の基本方策」をもとに、「効果的な小中学校と高校との連携」「系統的な音声指導・文字指導」等について協議し、R元の取り組み内容を整理した。 ②生徒指導上の様々な課題を解決するために、スクールソーシャルワーカー(SSW)やスクールカウンセラーを配置し、サポート体制の充実を図った。・SSWの配置 計画6中学校区→実施6中学校区(達成度)相談・支援体制を充実させ、SSWが面接やケース会議等により、778件のケースに関わり支援した。 ③指導方法の工夫改善、補充学習の充実等の取組を行い、児童生徒の学力の向上を図った。・国語、算数・数学(全国学力・学習状況調査)の正答率 計画すべてのB(活用)問題において、全国平均を+6ポイント以上→結果:(中3)国語B +6、数学A +11、数学B +11、理科 +6(達成度)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育む必要がある。							指標名	基準H28	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 グローバル化に対応した教育の推進 【詳細説明】 ・グローバル化が進む社会で子どもが生きるために、英語によるコミュニケーション能力や情報活用能力を育む。 ・R2の新学習指導要領全面実施へむけて、教職員等の指導力の向上や子どもが英語によるコミュニケーション能力を育む環境整備等を行う必要がある。 ・子どもたちの興味・関心を高め、思考や理解を深めるためにICT機器を整備し、授業等での活用を図る。 【その他の課題】 ・学校再編計画(第1次)の取り組みについて、今後、各地域の状況に応じて、地域のまちづくりといった観点を含め十分な時間をかけて進めていく。	【拡】英語教育推進事業(5,756) 【拡】IT教育推進事業(71,438)
	取組目標	子どもの「生きる力」を育む教育を充実しましょう				1	「将来の夢や目標を持っている」と答える子どもの割合	小6: 82.5 中3: 67.0	82.5% 67.0%	83.1% 70.5%	85.6% 72.0%	86.0% 72.0%	○								
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算	R元予算		2	「読書が好き」と答える子どもの割合	小6: 71.4 中3: 69.0	71.4% 69.0%	70.7% 67.9%	— —	75.0% 72.0%	△								
	施策関連 部課等	[学校教育部] 教育総務課、学校教育課、 教育研修所 子ども・未来部幼児教育振興課				3	「自分には、よいところがあると思う」と答える子どもの割合	小6: 79.7 中3: 69.6	79.7% 69.6%	79.0% 71.6%	82.0% 77.0%	83.0% 73.0%	○								
						4	「朝食を毎日食べている」と答える子どもの割合	小6: 95.8 中3: 94.6	95.8% 94.6%	95.5% 92.9%	96.6% 93.5%	98.0% 96.0%	△								
						5	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答える子どもの割合	小6: 96.4 中3: 91.6	96.4% 91.6%	98.1% 91.8%	97.8% 94.8%	100.0% 100.0%	○								
				6	教育研修所で研修した教員数(延べ)	—	942人	1,657人	1,873人	2,500人	○										

【様式1】令和元年度行政評価(内部評価)調査

取組番号	基本情報			予算の重点項目等に対する市の取り組み結果(H30年度)		成果指標等の推移							成果を踏まえた重点課題等(R元年度～)		R元予算対応内容(千円)	
				主な取り組み3項目(予算額:千円)			⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価			(進捗区分: ◎達成、○順調に進捗、△停滞傾向、×見直し必要)						
2-18	取組名	地域ぐるみの子育て			①放課後児童クラブの保育ニーズへの対応(27,290) ②子どもの居場所づくりの推進(300) ③こども未来塾の推進(1,711)	①新規クラブの開設などにより児童の受入枠を拡大し、将来への安定的運営を目指して指定管理者制度の導入を進めた。 ・計画 待機児童数0人、指定管理者制度導入1校区(達成度)新規クラブの開設等により、児童の受入れを拡充した。「学びの都(まち)三田」の特色を生かした指定管理者制度をR元.4.1導入(1校区(4クラブ)) ②地域人材の発掘と育成、ネットワークづくりを推進した。 ・計画 子ども食堂等の地域の居場所→当初1か所(達成度)新たな子どもの居場所(3ヶ所)が増え、活動者(R元年度に開設予定者含む)同士の交流会を開催。 ③プログラムの拡充と合わせ、地域団体への委託化を推進。 ・計画2(企業・団体)→実績5(企業・団体) ・計画 地域版12団体延べ24回→実績14団体延べ38回(達成度)魅力あるプログラム提供と放課後子ども教室などへの委託化を進めた結果参加者が増加。	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 地域における子どもの居場所づくり 【詳細説明】 ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室、こども未来塾、地域でのこども食堂など放課後や休日の子どもの居場所を拡大してきた。 ・今後家庭、地域、学校、行政等が更に連携を密にして、きめ細かい子どもの育ちを社会全体で支援することが求められている。 【その他の課題】 ・登下校時等における児童の安全確保の取り組み	【拡】こども未来塾の実施(1,811) 放課後の居場所づくり活動への支援(360) 放課後児童クラブ運営費(61,030)施設維持管理費(8,819) 【継続】放課後子ども教室推進事業費(7,036)	
	取組目標	地域ぐるみで次代を担う「さんだっ子」の学びと成長を支えましょう					1	こども未来塾の参加者数	-	263人	717人	2217人	5,000人			○
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算			2	放課後子ども教室実施学校数	14校	14校	14校	13校	17校			△
	施策関連部課等	[子ども・未来部子ども未来室] 子ども政策課、健やか育成課 学校教育部学校教育課					3	「こども110番の家」箇所数	874箇所	877箇所	892箇所	804箇所	1,040箇所			△
				4	「トライやる・ウィークは地域にとっても有益な活動である」と答える事業所の割合	74.5%(H28)	74.5%	65.9%	65.4%	80.0%	△					
				5												
2-19	取組名	生涯学習、歴史の継承と文化の創造			①連携と協働による生涯学習の推進(11,584) ②多様な学びの機会の提供、支援(17,412) ③地域の文化資源を活かす仕組みづくり(227,566)	①さんだ生涯学習カレッジ:今年度(H30)より新カリキュラムと研究科(地域活動・創業支援)を開設し取り組んだ。(達成度)概ね計画どおり実施できた。 ②文化財施設のプログラム運営を実施した。 ・来館者 旧九鬼家住宅資料館8,015人、ふるさと学習館12,313人、三輪明神窯史跡園5,182人(達成度)概ね計画どおり実施できた。 ③総合文化センター(郷の音ホール)の事業運営、市庁舎コンサートを実施した。 ・総合文化センター事業(26事業157,809人来館)、市庁舎コンサート(12回1,328人来場)。(達成度)計画に則って実施できた。多様な市民の文化芸術の紹介の場となった。	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 (仮称)文化ビジョンの策定 【詳細説明】 ・成熟のまちにふさわしい総合文化センターの役割を含めた三田市文化ビジョン(文化行政のあり方基本方針)を策定する。 ・公共施設マネジメントを踏まえた総合文化センター、市立図書館をはじめとする、文化・生涯学習施設の管理運営の検討。 【その他の課題】 ・生涯学習カレッジ新課程の2年度目の取り組みと前年度事業の検証	・文化振興ビジョン策定費(2,480) ・【拡】さんだ生涯学習カレッジ運営(10,335)	
	取組目標	人を育み、人をつなぎ、地域をつくる、生涯学習のまちをつくりましょう					1	代表的な生涯学習施設(総合文化センター・図書館)の利用者数	998,373人	950,345人	900,047人	867,830人	1,046,700人			△
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算			2	文化財施設入場者数	24,949人	23,008人	24,274人	25,510人	25,500人			○
	施策関連部課等	[地域創生部市民協働室] 文化スポーツ課 福祉共生部いきいき高齢者支援課					3	図書館・文化財施設のプログラム事業受講者数	11,996人	12,018人	12,981人	12,666人	12,500人			◎
				4												
				5												
				6												
2-20	取組名	スポーツ・レクリエーション			①スポーツが持つ多面的な可能性へのアプローチ(8,401) ②関係団体等との新たな協働、支援体制の構築(710) ③スポーツを通じたノーマライゼーションの推進(3,631)	①多面的なスポーツ参加機会の創出 ・第30回三田国際マスターズマラソン(応募5,032人、出走4,271人)、同ファンラン(応募308人、出走278人)、市民チャレンジデー(715人参加)、第27回小学生ドッジボール大会(59チーム914人)、さんだノルディック・ウォーキングフェスタ2019 in有馬富士の開催(412人参加)(達成度)概ね計画通りに実施できた。 ②スポーツ関連団体間の連携強化、今後の地域コミュニティに適合した地域スポーツの方向性の整理に向けた協議の準備。(達成度)スポーツクラブ21ひょうご三田市推進委員会にて協議。 ③障がい者スポーツの推進 ・水泳教室を開催(4回/月、毎週日曜日、参加者延べ653人)。 ・マスターズマラソン運営スタッフへの障がい者の参画。ファンランの部を設置。(達成度)事業が浸透し達成に近づいているが、より一層の市民への働きかけが課題。	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 第2次スポーツ推進基本計画を具体化する事業展開 【詳細説明】 ・計画の5つの基本方針を推進するために①三田らしいスポーツの推進、②スポーツ「夢」プロジェクト、③高齢者スポーツスクール、④障害者スポーツスクール、障害者スポーツ協議会の設立⑤「市民チャレンジデー&ファミリースポーツカーニバル」を実施する。 【その他の課題】	①ノルディック・ウォーキング(800) ②スポーツ「夢」プロジェクト(505) ③・④(4,154)、障害者スポーツ競技会設立(100) ⑤市民チャレンジデー&ファミリースポーツカーニバル(853)	
	取組目標	スポーツ・レクリエーションを通じて心と身体が元気になるまちをつくりましょう					1	週1回以上運動・スポーツをしている人の割合	42.4%(H28)	42.4%	42.5%	40.9%	46.0%			△
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算			2	駒ヶ谷運動公園の利用者数	270,781人	290,049人	325,681人	338,692人	280,000人			◎
	施策関連部課等	[地域創生部市民協働室] 文化スポーツ課					3	スポーツクラブ21会員数の割合	12.5%	12.6%	12.7%	12.2%	14.0%			○
				4	ノルディック・ウォーキングイベントへの参加者数	-	354人	568人	1,113人	1,100人	◎					
				5												
				6												
2-21	取組名	土地利用			①三田駅前Cブロック地区の事業化推進(8,784) ②福島土地区画整理事業の事業推進(125,032) ③北摂三田第二テクノパークへの企業誘致の推進(700)	①市街地再開発事業の効率的な執行及び透明性を確保するため費用便益分析を実施する。 ・計画1地区→実績0地区(達成度)分析業務に着手。R元.5末に業務完了予定。 ②福島土地区画整理事業の推進を支援したほか、同事業にあわせ新たにJR新三田駅東ロータリーを築造するための用地買収(公共施設管理者負担金)を実施。 ・計画買収面積1,343㎡→買収面積1,343㎡(達成度)概ね予定通りに事業を進捗させることができた。一部委託業務についてはR元を実施。 ③北摂三田第二テクノパークに1社が進出、1社が操業した。 ・全体で進出企業数14社、操業企業数11社(達成度)企業進出が順調に進んでいる。	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 福島土地区画整理事業の推進 【詳細説明】 ・土地区画整理事業をR2完了に向けて、施行者である組合に対して技術的支援を引き続き実施する必要がある。また、同事業にあわせて市がR元に築造を開始するJR新三田駅東ロータリーの円滑な施工が重要である。 【その他の課題】 ・三田駅前Cブロック地区市街地再開発の事業化推進	・土地区画整理事業費福島地区(260,198)	
	取組目標	地域に応じた土地利用を進めることにより持続可能な都市をつくりましょう					1	市街地再開発事業区域面積	2.2ha	3.1ha	3.1ha	3.1ha	3.1ha			◎
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算			2	土地区画整理事業区域面積	141.3ha	141.3ha	141.3ha	141.3ha	146.6ha			○
	施策関連部課等	[まちの再生部地域整備室] 都市整備課 都市計画課、道路河川課、審査指導課 地域創生部産業政策課					3									
				4												
				5												
				6												

【様式1】令和元年度行政評価(内部評価)調査

取組番号	基本情報			予算の重点項目等に対する市の取り組み結果(H30年度)		成果指標等の推移							成果を踏まえた重点課題等(R元年度～)		R元予算対応内容(千円)	
				主な取り組み3項目(予算額:千円)		⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価		(進捗区分: ◎達成、○順調に進捗、△停滞傾向、×見直し必要)								現在もっとも重要な1項目+その他の課題を記載
2-22	取組名	多様な交流観光の創出		① 観光の魅力向上 (4,460) ② ツーリズム情報の発信 (17,322) ③ 新たな地域ブランドの確立 (9,070)	① 三田まつりを通じて観光の魅力向上に努めた。 ・三田まつり来訪者数 前年度70,000人 →実績72,000人 (達成度)来訪者は増加。持続可能な推進体制構築が課題。 ② 総合案内所等を拠点にツーリズム情報を発信した。 ・観光案内件数 前年度22,641件 →実績20,803件 (達成度)窓口等での観光案内件数は減少。効率的効果的な発信手法の工夫が必要。 ③ 市観光協会企画事業に対する事業補助を軸に新たな地域ブランドの確立を図った。 ・イベント参加者 前年度12,384人 →実績14,411人 (達成度)観光協会の工夫を生かした企画を推進し、イベント参加者は増加した。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 ●魅力ある観光地の形成 【詳細説明】 ・観光入込客数は微減。現在の調査で把握できていない観光入込客が増加していることから、調査対象施設等の見直しを行うとともに、広域的な視点をもった新たな観光施策の推進が必要と考える。 【その他の課題】 ・「4-1チーム三田」と連携した取り組みの充実	・三田まつり開催費補助金、観光施設等維持管理事業費等(8,293千円)	
	取組目標	おもてなしの心でさんの魅力を発信しましょう				1	観光客入り込み客数	3,440千人(H26)	3,457千人(H27)	3,370千人(H28)	3,292千人(H29)	4,000千人	△			
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	さんだ観光ガイド利用者数	514人	630人	530人	411人	1,000人			△
	施策関連 部課等	[地域創生部産業戦略室] まちのブランド観光課、産業政策課				3	体験型観光者数	89千人(H26)	101千人(H27)	97千人(H28)	91千人(H29)	130千人	△			
2-23	取組名	地域経済の活性化		① 三田市創業支援事業計画に基づく創業支援事業の実施(11,988) ② 地域産業の振興と活性化を図るための産業創造戦略の推進(349) ③ 北摂三田第二テクノパークへの企業誘致の推進(700)	① 創業支援事業の実施に取り組んだ。 ・創業支援セミナーの開催 計画2回→実績2回 ・創業つながりカフェの開催 計画4回→実績4回 ・実践創業塾の開催 計画2回→実績2回 (達成度)創業支援事業により9件の創業を促進した。 ② 三田市産業創造戦略懇話会の提言書を受け、「生活・産業都市」への転換を推進する「三田市産業創造戦略」を策定した。 (達成度)産業創造戦略を策定し、具体事業の準備を進めた。 ③ 北摂三田第二テクノパークに1社が進出、1社が操業した。 ・全体:進出企業数14社、操業企業数11社 (達成度)企業進出が順調に進んだ。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 ●産学官の連携による「三田市産業創造戦略」の推進 【詳細説明】 ・「三田市産業創造戦略」を推進するための具体的な事業を推進する。 ・産学官の連携体制を強化し、産業振興及び地域経済の活性化を図る。 【その他の課題】 ・創業支援のための拠点整備と起業家の育成支援 ・北摂三田第二テクノパークへの企業誘致と立地企業の定着促進	・産学官連携協議会開催事業費(502) ・三田市産業創造戦略人材育成事業費(1,000) ・三田市産業創造戦略推進事務費(384) ・創業支援事業費(13,192) ・第二テクノパーク促進事業費(300)	
	取組目標	だれもがいいきいと働く活力とにぎわいのあるまちをつくりましょう				1	市内民営事業所数	2,706(H24)	2,783(H26)	2,783(H26)	2,730(H28)	3,000事業所	△			
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	市内民営事業所従業員数	37,137(H24)	38,165(H26)	38,165(H26)	39,678(H28)	39,000人			◎
	施策関連 部課等	[地域創生部産業戦略室] 産業政策課				3	年間商品販売額(卸売・小売)	988億円(H24)	1,324億円(H26)	1,324億円(H26)	1,569億円(H28)	1,400億円	◎			
2-24	取組名	交通ネットワーク		① 地域公共交通網形成計画の策定(4,100) ② 地域外出支援活動サポート事業(2,110) ③ 市道橋梁の長寿命化等を図るための取り組み(141,350)	① 本市の地域公共交通の将来像を示すマスタープランとして三田市地域公共交通網形成計画を策定した。 ・計画期間 R元～R6 (達成度)三田市地域公共交通網形成計画を策定し、具体的施策の実施計画と推進体制の確立に向けた準備を進めた。 ② 公共交通の利用が不便な地域において、地域活動と連携し、安心とおでかけサポート事業の社会実証実験を実施した。実施に伴い、地域活動で生じた経費については補助により実施。 ・実施地区 小野地区 ・支援の内容 活動資材購入、環境(拠点)整備、通信費、会議費等 (達成度)市内1地区において社会実証実験を実施するとともに、次年度にむけた取り組み地区拡大の準備を進めた。 ③ 三田市橋梁長寿命化計画に基づき計画的な修繕等を行った。 ・橋梁修繕設計 計画18橋 →実績18橋 ・橋梁修繕工事 計画2橋 →実績2橋 (達成度)計画に則して取り組めた。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 持続可能な交通ネットワークの形成 【詳細説明】 ・高齢者をはじめ車を気軽に利用できない人の増加に伴い、それぞれの地域の特性に応じた持続可能な地域内交通ネットワークの構築が急務。 ・三田市地域公共交通網形成計画に基づき、交通拠点機能の強化や地域交通の再編によるネットワーク形成とともに、乗り継ぎ性の向上など公共交通サービスの向上を図る。 【その他の課題】 ・高齢化が進む市道橋の計画的な対応	・交通計画推進事業費(700) ・地域外出支援おでかけサポート事業費(720)	
	取組目標	だれもが安全に安心して移動できるまちをつくりましょう				1	高齢者運賃助成券利用率	44.9%	49.4%	51.1%	51.5%	55.0%	○			
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	公共交通1日平均利用者数(神姫バス、阪急田園バス)	15,440人(H26)	15,542人(H27)	15,971人(H28)	16,539人(H29)	16,000人			◎
	施策関連 部課等	[まちの再生部都市政策室] 交通まちづくり課、道路河川課				3	バスシェルター等設置数	131カ所	132カ所	134カ所	134カ所	136カ所	○			
2-25	取組名	農業振興		① 新規就農支援(3,300) ② 三田産農畜産物消費拡大推進事業(2,240) ③ 畜産経営基盤強化支援事業(3,150)	① 新規就農者に対し、就農初期に必要な経費助成を行った。 ・助成件数 計画6人 →実績6人 (達成度)農業機械や設備導入経費の助成を行うことで就農時の負担が軽減でき、農業経営の確立につながった。 ② 市外での直売活動に農業者と一緒に参加した。 ・開催回数(大阪、神戸、伊丹) 計画10回→実績10回 (達成度)農業者とともに参加することで、消費者と生産者の交流が図れた。 ③ 繁殖牛を導入する農家に対して助成を行った。 ・助成頭数 計画30頭 →実績16頭 (達成度)子牛価格の高騰により、計画通りに達成できなかったが、三田牛の生産基盤の強化を図れた。	指標名		基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 三田産農畜産物のブランド力強化 【詳細説明】 ・三田産農畜産物の認知度向上のため、ロゴマークの活用や市外での直売活動を展開しているが、今後はさらに販路開拓につながるよう取組を強化していく。 ・三田牛の高品質規格「廻」の普及促進と併せて、畜産の基盤強化により、三田牛の生産振興を図る。 【その他の課題】 ・三田の農業の将来を支える担い手の確保と育成 ・鳥獣被害の防止対策	・農畜産物のブランド力強化・消費拡大支援(1,750) ・畜産経営基盤強化支援事業(3,150)	
	取組目標	三田の活力とブランド価値を向上させる農産物を構築しましょう				1	認定農業者数及び認定新規就農者数	62人	67人	75人	80人	75人	◎			
	対象経費 人件費除く :百万円	H29予算	H30予算			R元予算	2	エコファーマー化率	10.9%	11.6%	7.3%	7.2%	13.0%			△
	施策関連 部課等	[地域創生部産業戦略室] 農業創造課、農村整備課 福祉共生部健康増進課 まちの再生部都市再生課 学校教育部学校給食課				3	市外での直売活動等の延べ件数	1件	8件	21件	31件	50件	○			
				4	地場産レストラン年間来客数	-	-	-	-	40,000人	-					
				5	「バスカルさんだ」での地場農産物販売額	610,489千円	623,633千円	562,091千円	513,098千円	700,000千円	△					
				6	鳥獣害の農作物被害額	13,178千円	13,178千円(H27)	13,338千円(H28)	13,142千円(H29)	10,000千円	△					

【様式1】令和元年度行政評価(内部評価)調査

取組番号	基本情報			予算の重点項目等に対する市の取り組み結果(H30年度)		成果指標等の推移							成果を踏まえた重点課題等(R元年度～)	R元予算対応内容(千円)										
				主な取り組み3項目(予算額:千円)		⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価		(進捗区分: ◎達成、○順調に進捗、△停滞傾向、×見直し必要)							現在もっとも重要な1項目+その他の課題を記載									
3-1	取組名	行政運営			①公共施設等マネジメントの推進(140) ②財政運営:事業の見直し等を含む選択と集中による持続可能な財政運営 ③働き方改革の推進	①公共施設等総合管理計画(H29.3)を踏まえ、個別施設の方向性等を示した基本方針を策定した。(H30.12) ・公共施設タウンミーティング(地域版)を実施 5カ所 ・長期間のパブリックコメントを実施(H30.1.5～10.1) (達成度)今後、廃止・売却等を行っていく施設を示すとともに、地域が利活用を検討できる制度【地域イニシアチブ】を合わせて創設した。 ②R元予算編成に向けて経常経費等について「選択と集中」指針等に基づく歳出抑制に取り組んだ。 ・予算案における一般財源削減額 計画2.1億円 →実績1.9億円 (達成度)人件費、他会計支出金等の歳出抑制とあわせ、R元歳出予算を257.7億円に抑制。昨年度に前倒しで達成した行財政構造改革方針の目標内を維持。 ③働き方改革推進本部会議を継続し、時差出勤や職員アンケート、イクボス宣言など新しい取り組みを展開した。 ・時間外勤務削減目標(H29目標値91%)75,486時間 →実績72,471時間 (達成度)ノー残業デーの徹底や時差出勤の活用、年休取得促進などワークライフバランスの推進を図った。	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 ICT(情報通信技術)を活用した行政運営の推進 【詳細説明】 職員の仕事を市民サポートなどへ移行し、市民サービスの向上を図るため、ICTを活用した事務の効率化を進める。 <主な取組み> ・RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション) 定型的パソコン業務をソフトウェアのロボットで自動処理。 ・音声認識技術の導入 聴覚に障がいのある方や外国の方とのコミュニケーション手段の確保、会議等の記録作成に係る業務の効率化を図る。 【その他の課題】 ・働き方改革の推進 ・行財政構造改革の推進	・電子計算システム開発導入費および運用保守費(6,030千円)									
	取組目標	職員と組織の能力を高め、市民にとってわかりやすい行政運営に取り組めます																						
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算			1	人事評価「積極性」の項目について、「期待以上」と評価される職員の割合	43.4%	41.0%	38.4%	41.9%	50.0%			○								
	施策関連部課等	[経営管理部行政管理室] 総務課、ICT推進課、人事課、財政課、公共施設マネジメント推進課、収納対策課ほか、市長公室政策課					2	市役所の信頼度	82.9% (H28)	82.9%	82.6%	81.0%	85.0%			△								
3-2	取組名	協働			①成熟のまちづくりにふさわしい地域コミュニティのあり方の検討(320) ②協働事業提案制度の実施及び見直し(750) ③広告収入による「わがまちさんだ」の発行	①地域コミュニティ懇話会を新たに設置し、成熟社会にふさわしい地域コミュニティのあり方について検討をはじめた。 (達成度)R元中に三田市にふさわしい地域コミュニティ組織のあり方について、一定の考え方を示す。 ②協働事業提案制度の募集及び選定等を実施したが、実施事業はなく、R元は協働事業提案制度の休止を行い、制度の見直しを図る。 (達成度)応募件数1件、採択件数1件(ただし、申込み団体の事情により、事業の取り下げ) ③市の公共施設や観光案内所、転入者等に配布する情報地図「わがまちさんだ」20,000部を、はじめて全額広告収入で作成した。 (達成度)印刷費95万円に対し、108万円の広告収入があり、13万円の黒字となった。	指標名	基準H27	H28	H29	H30	目標R3	進捗	【重点課題】 成熟のまちづくりにふさわしい地域コミュニティのあり方の検討 【詳細説明】 ・地域コミュニティ懇話会(12名)において、市が目指す成熟社会に対応できる地域コミュニティの制度や支援策等を検討する。 ・協働事業提案制度については、実施実績を踏まえてR元はいったん公募を休止し、より活用されやすく効果的な制度への転換を進める。 【その他の課題】 ・市民団体の育成にかかる支援制度の検討	地域コミュニティ懇話会(364)									
	取組目標	市民、事業者及び市が力を合わせてまちづくりをすすめます					1	三田のまちづくりへの関心度	76.9% (H28)	76.9%	71.3%	75.9%	85.0%			△								
	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算			2	協働事業採択実施件数(累計)	-	-	1件	0件	20件			×								
	施策関連部課等	[地域創生部市民協働室] 協働推進課、まちづくり協働センター、市長公室秘書広報課					3	市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思う人の割合	55.5% (H28)	55.5%	46.4%	50.9%	60.0%			△								
	4-1	取組名	チーム三田				①「学生のまち」の推進(1238) ②新たなブランド創造(6,515) ③移住UIJターンの促進(1,977)	①学生ワークショップの開催、学生のまちづくり応援成制度、発表会・交流会の実施した。 ・助成制度採択団体 計画5団体 →実績5団体 ・コンテスト・交流会参加者 計画60人 →実績73人 (達成度)学生と地域とのつながりや活動の自律性が高まった。 ②三田ビール検定及びサンタ×三田プロジェクトを核に展開した。 ・検定受検者 計画200人 →実績172人 ・サンタ×三田メインイベント参加者 前年4,000人 →4,500人 (達成度)提携事業開催等、団体や事業者と連携が広がった。 ③移住目的宿泊者への補助、移住交流フェアへの出展、市民参加による魅力発信、新婚・子育て世帯への定住支援を行った。 ・宿泊者補助2件(計画3件) ・定住支援成83件(計画94件) ・公式インスタグラム フォロワー数875人(H30.10～H31.3) (達成度)本市の魅力発信に市民と連携して取り組んだ。	指標名	基準H27	H28	H29	H30			目標R3	進捗	【重点課題】 市民・事業者等と連携した取り組みによるシビックプライドの醸成 【詳細説明】 ・三田ビール検定は2回目の開催となり、民間事業者と連携した提携事業の実施があった。また、移住促進では、さんだ住まいるチームとともに公式インスタグラムを活用した取り組みを進めた。これらの取り組みをさらに継続的かつ全所的な取り組みとし、シビックプライドの醸成につなげていくことが必要である。 【その他の課題】 ・地場産レストランの事業化	ビール検定等シビックプライド推進事業(5,341)					
		取組目標	魅力を高め強みを活かすチーム三田で三田版総合戦略を推進します						1	三田市に「住み続けたい」と感じる若者の割合	55.5% (H28)	55.5% (H28)	55.5% (H28)			55.5% (H28)	60.0%			△				
対象経費人件費除く:百万円		H29予算	H30予算	R元予算	2	広域メディア掲載件数			50件	62件	105件	91件	100件	○										
施策関連部課等		[地域創生部産業戦略室] まちのブランド観光課、子ども・未来部健やか育成課、まちの再生部都市再生課			3	シティセールスポータルサイト閲覧件数			-	-	90,000件	10万件	10,000件	◎										
4-1	対象経費人件費除く:百万円	H29予算	H30予算	R元予算	164	117	95	4	新婚・子育て世帯定住促進支援事業の利用件数	83件	129件	86件	83件	110件	△									
																5	5	5	5	5	5	5	5	5
																6	6	6	6	6	6	6	6	6